

事務事業名	地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化支援事業	所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉	所属G	観光振興グループ	課長名	高橋 司
施策名	〈36〉観光の振興	担当者名	川西 史明	電話番号	0854-40-1054
目的	対象 A)市外の人 B)市民	意図	A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。B)観光情報を発信する。	(内線)	2433
基本事業	〈107〉受け入れ施設の充実	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0:1 3 5 0:1 観光振興総務管理事業 項 目 中事業 中事業名 0:5 1 5 0:7 観光地再生・観光サービス 高付加価値化支援事業		
目的	対象 観光客	意図	観光施設を利用できる。		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市内外の人、観光客	雲南市を訪れ宿泊及び観光消費をしてもらう。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度～) ☒ 期間限定複数年度 (R5 年度～ R6 年度)	新型コロナウイルス感染拡大の影響等で厳しい状況におかれている宿泊事業者等が積極的に観光庁の事業に取り組めるよう地域経済の回復に向け島根県と協調して支援する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) 観光地経営を進めるための地域計画を雲南市と奥出雲町で作成して申請を行い、観光庁の指摘を受け計画を修正して令和5年12月8日に採択となった。事業採択となった市内3箇所を島根県と協調して支援した。	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 令和4年度に事業申請を行ったが不採択となり、地域一体となって取り組みを進めるため、令和5年度は雲南市と奥出雲町が連携し、エリアと参加事業者を拡大した計画を作成して採択を目指した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 観光入込客数	千人			1,073	1,160
イ 観光消費額	百万円			2,255	2,781
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
・負担金補助及び交付金71,110千円	国庫支出金	千円			35,555	16,666
【財源】	県支出金	千円			35,555	16,666
・観光地再生・観光サービス高付加価値化事業補助金	地方債	千円				
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	その他	千円				
	一般財源	千円				
	事業費計	千円	0	0	71,110	33,332

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	観光庁の令和5年度、令和6年度の事業採択を受け、県と協調して令和5年度分の補助金を交付した。
② 事業実施するうえでの課題	計画エリアが広域であるため、関係する施設を結ぶ周遊コースを設定する必要がある。 新設される宿泊施設の利用に向けて情報発信を行い、安定的な誘客を進める必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	観光協会と連携し、宿泊施設の利用を盛り込んだ観光タクシープランなどの旅行商品の造成を進める。 来訪者のアンケートを基に、宿泊施設の運営改善を行うとともに、旅行者のニーズに即した旅行商品を検討する。